

# LIXIL 門扉用電気錠

## タッチキー/CAZAS+(カザスプラス)

# 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

-  **ポイント**
  - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
  - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
  - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### ポイント

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 埋設管にはPF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことが無い場所を選んでください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
〈推奨トルク〉アルミ  $\phi 4$ ネジ：1.5N・m $\pm$ 0.5N・m (15 $\pm$ 5kgf・cm)  
樹脂  $\phi 4$ ネジ：1.0N・m $\pm$ 0.5N・m (10 $\pm$ 5kgf・cm)
- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。
- ガス機器やその排気筒などの温度が高くなるものの近くには取付けないでください。火災の原因になります。

## <施工上のご注意> (つづき)

### ポイント

- 電源ユニットは以下の場所には絶対に取付けないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。
  - ・補強のない薄い場所
  - ・傾斜した場所
  - ・据置き
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。ガタツキがある場合、落下によるケガの原因になります。
- 施工終了後は、ネジにゆるみがないか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 電池はエネルギーを使用してください。
- エネルギーの充電器は別途ご購入ください。
- ※エネルギーはパナソニックの登録商標です。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。
- 付属のボックス固定用ネジは、木ネジを同梱しています。取付ける相手側にあわせて、十分な固定強度を確保できるネジを別途現場で準備・交換してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

## <電気配線工事について>

### 注意

- ※電気配線工事について下記の項目を守ってください。守られない場合に漏電や感電につながる恐れがあります。
- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 門内解錠押しボタンスイッチ、ワイヤレス解錠ユニット受信器までの配線については100Vおよび200Vの配線と接近して平行または交差しないでください。平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
- 配管距離が長い場合、また曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- スリーブの固定(電線の接続)は、必ず専用の工具でカシメてください。
- 門内解錠押しボタンスイッチまでの配線は、0.5mm<sup>2</sup>以上の配線を使用してください。

# 目次

	ページ	タッチキー	CAZAS+
はじめに	■ 梱包明細書	4	○
	1. 基本寸法図と各部名称	6	○
	2. システムイメージ	7	
組付け手順	2-1 CAZAS+/タッチキーのシステム拡張	7	○
	3. 電気錠ユニットの扉への組付け	8	
	3-1 扉へ配線の引き込み <b>オプション</b>	8	○
	3-2 制御ユニットの組付け	10	○
	3-3 屋外リーダーの組付け	10	○
	3-4 屋内リーダーの組付け	10	×
	3-5 電動サムターンの組付け	11	○
	3-6 屋外/屋内リーダー化粧プレートの組付け	12	○
	3-7 鎌錠ストライクセットの取付け	12	○
	4. マグネットの取付け	13	○
	5. 電池の挿入	13	○
登録・設定	6. 解錠用オプション部品の組付け <b>オプション</b>	14	○
	7. 電気錠の登録および設定	16	
	7-1 リモコンキーの登録方法	16	○
	7-2 カードキーの登録方法	17	×
施錠方法	7-3 自動施錠ON/OFFの切替方法	18	○
	8. 施錠方法	19	
	8-1 リモコンキーでの施錠方法(タッチモード)	19	○
	8-2 リモコンキーのボタンでの施錠方法	19	○
	8-3 門内解錠押しボタンスイッチからの解錠方法 <b>オプション</b>	20	○
	8-4 ワイヤレス解錠ユニットからの解錠方法 <b>オプション</b>	20	○
こんなときは	8-5 カードキーでの解錠方法	20	×
	8-6 シリンダーや手動でのサムターンの施錠方法	21	○
	9. 門扉のブザー音と表示について	22	○
	10. リモコンキーのランプ表示について	23	○
	11. 商品仕様	23	○

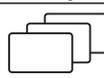
●タッチキー専用の内容には「**タッチキー**」、CAZAS+専用の内容には「**CAZAS+**」、マークがそれぞれに付きます。記載内容でマークが無い項目は共通事項になります。

## ■ 梱包明細表

【1】部品セット **タッチキー**

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
制御ユニット		1	サムターン取付金具		1
框内配線		1	電動サムターンパッキン		1
屋外リーダー(リモコン用)		1	電動サムターンカバー		1
屋内リーダー(リモコン用)		1	電動サムターンツマミ		1
屋外リーダー化粧プレート		1	マグネット		1
屋内リーダー化粧プレート		1	リモコンキー		1
リーダー取付部品		1	電池(エネルーブ4本セット)		2
電動サムターン(右勝手用)		1	[1-1]φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
電動サムターン(左勝手用)		1	[1-2]φ4×12ナベタッピンネジ2種		2
			[1-3]φ4×12薄平タッピンネジ1種		2
			取付説明書〈A572〉	—	1
			取扱説明書〈UA208〉	—	1

【1】部品セット **CAZAS+**

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
制御ユニット		1	電動サムターンカバー		1
框内配線		1	電動サムターンツマミ		1
屋外リーダー(カードキー用)		1	マグネット		1
屋外リーダー化粧プレート		1	カードキー(3枚セット)		1
屋外リーダー取付部品		1	電池(エネルーブ4本セット)		1
電動サムターン(右勝手用)		1	[1-1]φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
電動サムターン(左勝手用)		1	[1-2]φ4×12ナベタッピンネジ2種		2
			取付説明書〈A572〉	—	1
			取扱説明書〈UA208〉	—	1
サムターン取付金具		1			
電動サムターンパッキン		1			

**【2】門内解錠押しボタンスイッチセット オプション**

名称	略 図	員 数
1コ用スイッチボックス 通電金具用		1
1コ用スイッチボックス 防滴プレート用		1
防滴プレート		1
門内解錠押しボタンスイッチ		1
外部接点配線		1
門柱側プレート		1
ケーブルカバー(※1)		3
[2-1]スリーブ		2
[2-2]φ4×10トラスタッピンネジ3種		4

※1 開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)では使用しません。

**【3】ワイヤレス解錠ユニットセット オプション**

名称	略 図	員 数
リモコン受信器		1
外部接点配線		1
ケーブルカバー(※1)		3
リモコン送信器		1
リモコンホルダー		1
電池(エネルーブ4本セット)		1
配線ガイドワイヤー		1
[3-1]スリーブ		2
[3-2]φ4×10トラスタッピンネジ3種		4
[3-3]φ4×10バインドタッピンネジ2種		2
[3-4]φ4.1×20 木ネジ		2
取付説明書〈A571〉	—	1
取扱説明書〈UA210〉	—	1

※1 開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)では使用しません。

**【4】シリンダーセット(※2)**

名称	略 図	員 数
鎌錠ケース		1
シリンダー(※3)		1
キー(※4)		3
鎌錠ストライク		1
鎌錠トロヨケ		1
[4-1]φ5×50サラ小ネジ(※3)		2
[4-2]φ4×12サラタッピンネジ3種		4

※2 プッシュプルST錠を使用する場合は、錠セットに同梱されています。

※3 仮組みした状態になっています。

※4 施工終了後、必ず施主様にお渡しください。

はじめに

配線

制御  
ユニット

屋内外  
リーダー

組

付

け

手

順

化粧  
プレート

鎌錠  
ストライク  
セット

マグネット

電池  
挿入

解錠用  
部品  
(オプション)

リモコンキー  
登録  
(タッチ)

カードキー  
登録  
(CAZAS<sup>+</sup>)

定

自動施錠  
切替

施

解

錠

方

法

リモコンキー  
(タッチ)

門内解錠  
押しボタン  
(オプション)

ワイヤレス  
解錠ユニット  
(オプション)

カードキー  
(CAZAS<sup>+</sup>)

シリンダー  
サムターン

こんなときは

※図は、H12内開き仕様を示します。

# 1. 基本寸法図と各部名称

〈 〉内寸法はH14、[ ]内寸法はH16の場合を示します。

## 1-1 基本寸法

### (1) 片開き

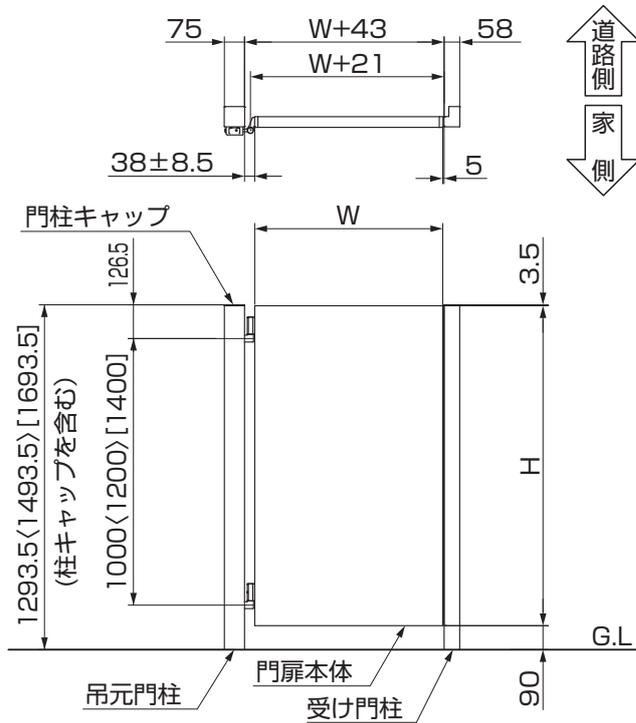


表1-1

呼称	W	H
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400
08-16	800	1600
09-16	900	1600

### (2) 親子仕様・両開き

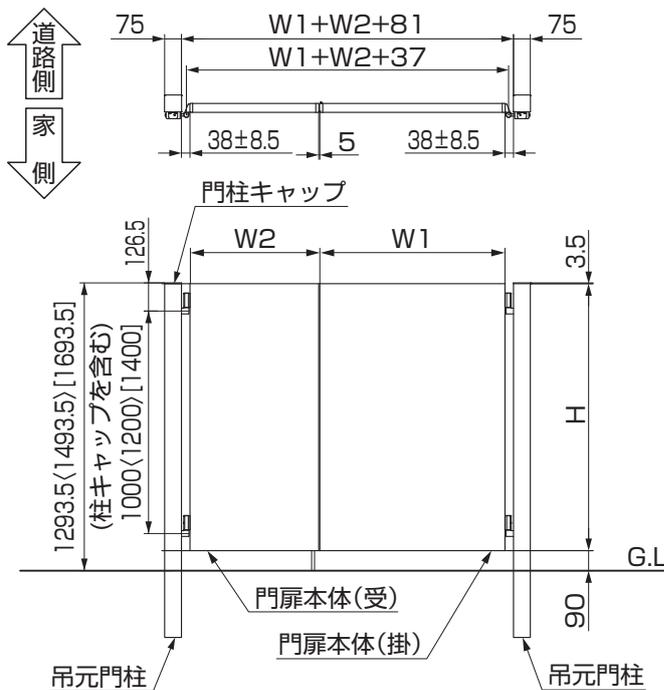


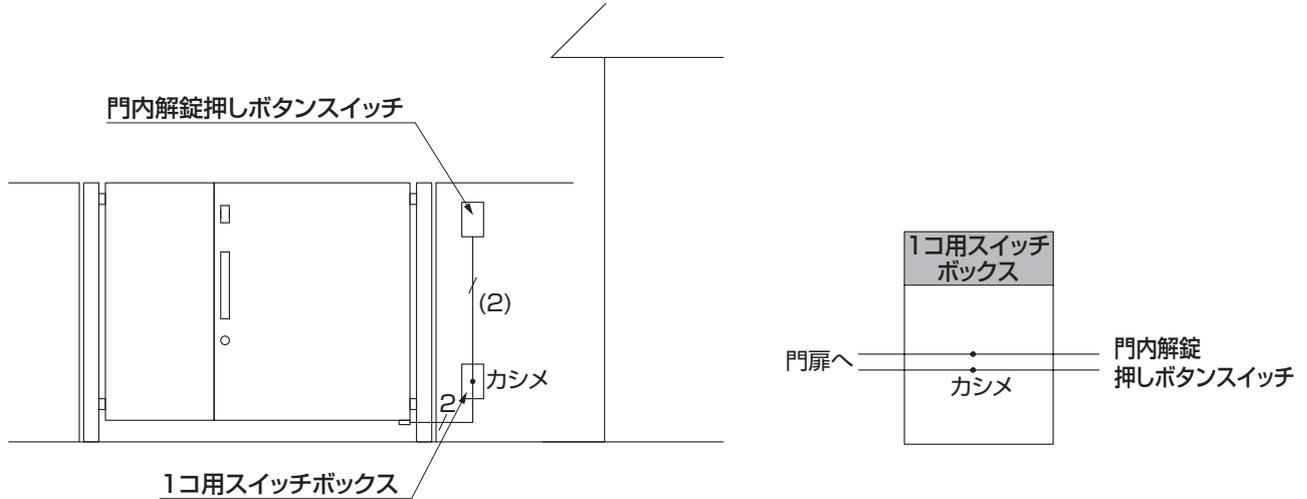
表1-2

呼称	W1 掛扉・受扉	W2 子扉	H
04-12	—	400	1200
05-12	—	500	1200
07-12	700	—	1200
08-12	800	—	1200
09-12	900	—	1200
04-14	—	400	1400
05-14	—	500	1400
07-14	700	—	1400
08-14	800	—	1400
09-14	900	—	1400
05-16	—	500	1600
08-16	800	—	1600
09-16	900	—	1600

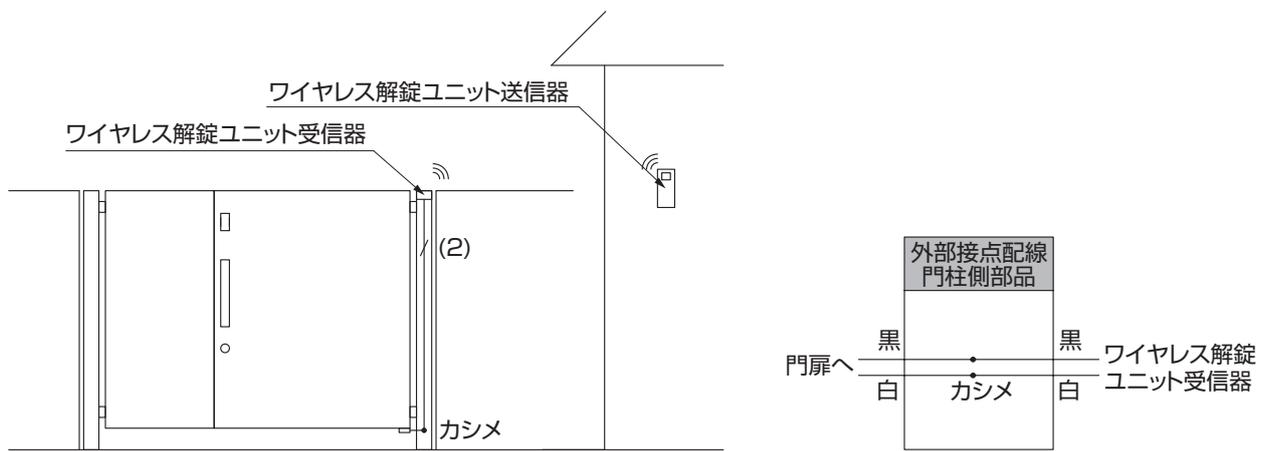
## 2. システムイメージ

### 2-1 CAZAS+/タッチキーのシステム拡張

#### (1) 門内解錠押しボタンを使用する場合



#### (2) ワイヤレス解錠ユニットを使用する場合



#### (3) 門内解錠押しボタンスイッチとワイヤレス解錠ユニットを併用する場合

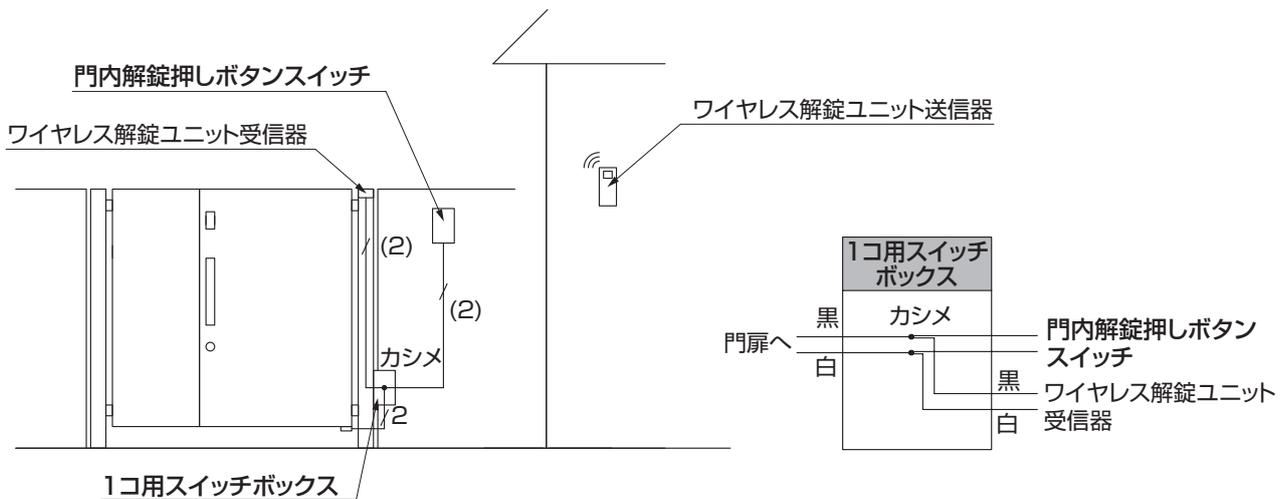


表2-1 配線長さ表

接続機器	φ0.65又は0.5mm <sup>2</sup>	φ0.9又は0.75mm <sup>2</sup>
外部接点配線門柱側部品～ワイヤレス解錠ユニット		5m
1コ用スイッチボックス～門内解錠押しボタン		5m

はじめに

配線

制御  
ユニット

屋内外  
リーダー

組  
電動  
サムターン

付  
化粧  
プレート

順  
鍵錠  
ストライク  
セット

マグネット

電池  
挿入

解錠用  
部品  
(オプション)

登録・  
リモコン  
キー登録  
(タッチ)

カードキー  
登録  
(CAZAS+)

設定  
自動施錠  
切替

リモコン  
キー  
(タッチ)

施  
門内解錠  
押しボタン  
(オプション)

方法  
ワイヤレス  
解錠ユニット  
(オプション)

カードキー  
(CAZAS+)

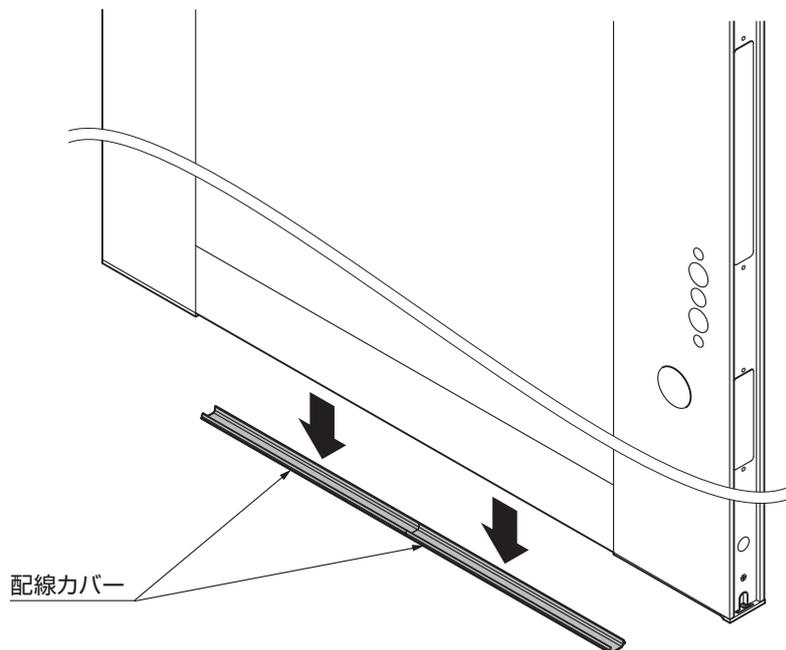
シリンダー  
サムターン

こんなときは

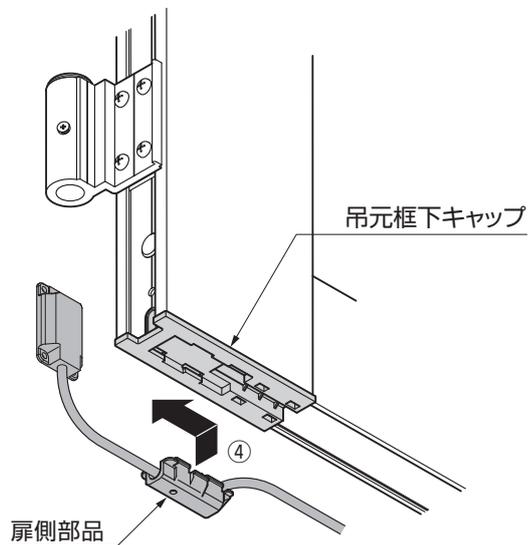
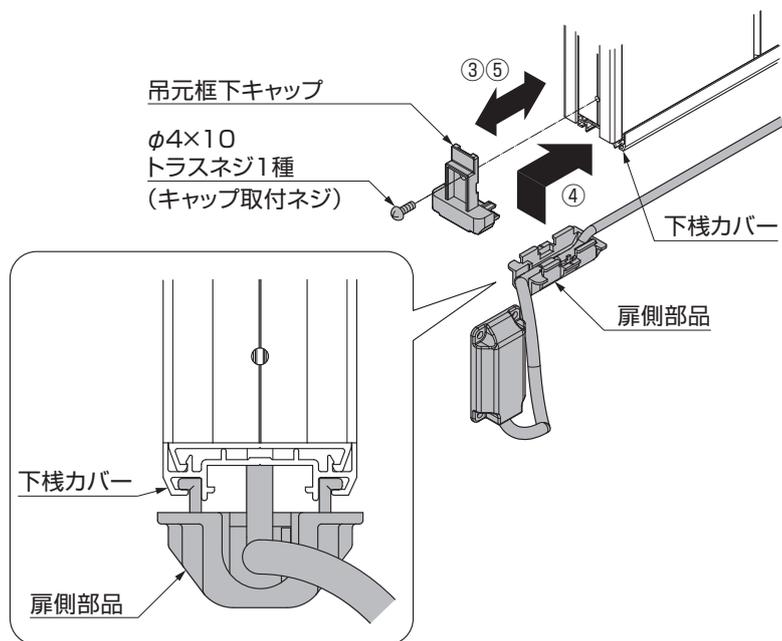
## 3. 電気錠ユニットの扉への組付け

### 3-1 扉へ配線の引き込み **オプション**

※オプションの門内解錠押しボタンスイッチやワイヤレス解錠ユニットの場合に外部接点配線を引き込む作業です。

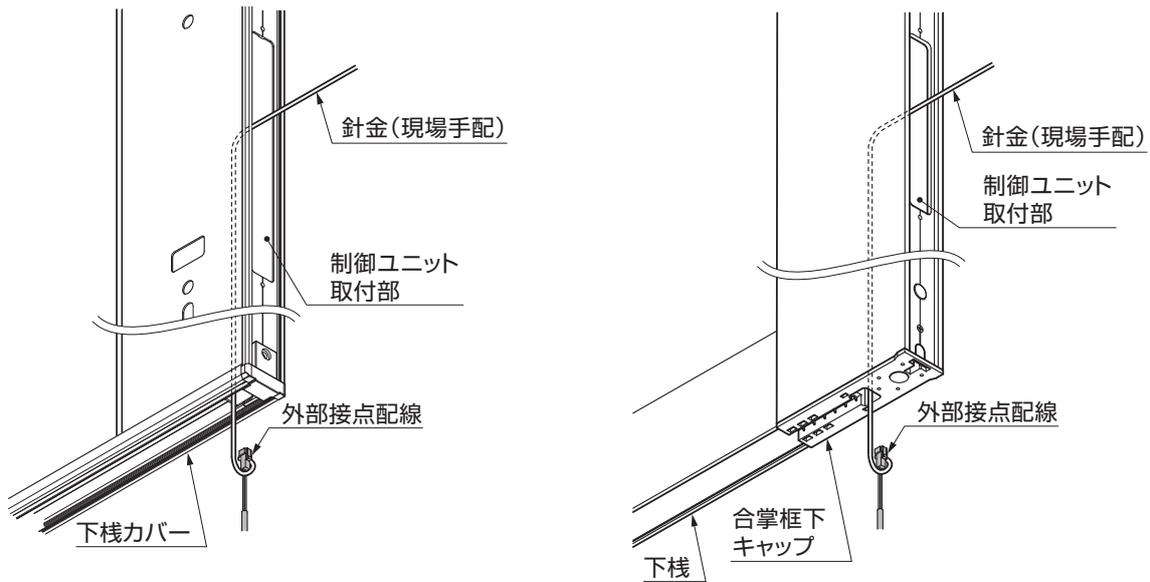


- ①配線カバーを取外します。(開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合のみ)
- ②ケーブルカバーを任意の長さに切断して下さい。配線カバーはうち1本を端部より50mm切断して下さい。



開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合

- ③キャップ取付ネジを取外し、吊元側下キャップを外します。  
(開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)はキャップの取外しは不要です)
- ④外部接点配線の扉側部品を下棧カバーに差込みます。  
開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合は、吊元側下キャップに差し込み吊元側にスライドさせます。
- ⑤吊元側下キャップを取付け、キャップ取付ネジで固定します。



開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合

図3-1

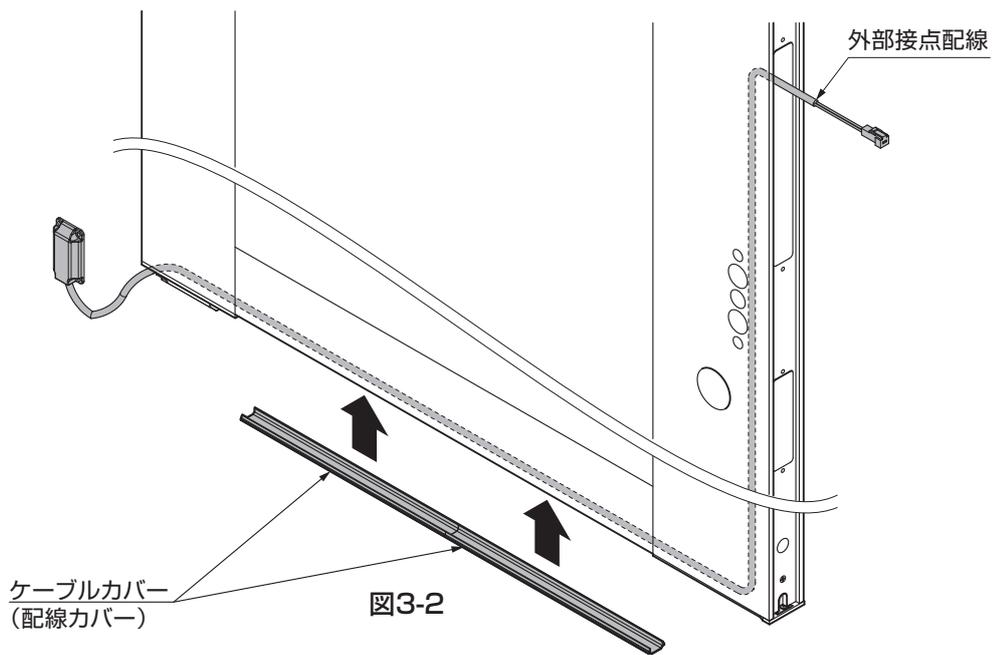


図3-2

- ⑥外部接点配線を戸当側の下棧カバーの孔より制御ユニット取付部まで通して下さい。(図3-1)  
 開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合は合掌框下キャップの孔より制御ユニット取付部まで通して下さい。
- ⑦ケーブルカバーを下棧カバーにはめ込みます。(図3-2)  
 開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合は配線カバーを下棧にはめ込みます。

**補足**

- 配線が下棧カバーまたは合掌框下キャップの穴より制御ユニット取付部まで通しにくい場合は、針金などを使用して、配線を通してください。(図3-1)

はじめに
配線
制御ユニット
屋内外リーダー
電動サムターン
化粧プレート
組付け手順
鍵錠ストライクセット
マグネット
電池挿入
解錠用部品(オプション)
登録・設定
リモコンキー登録(タッチ)
カードキー登録(GAZAS <sup>+</sup> )
自動施錠切替
施錠方法
リモコンキー(タッチ)
門内解錠押しボタン(オプション)
ワイヤレス解錠ユニット(オプション)
カードキー(GAZAS <sup>+</sup> )
シリンダーサムターン
こんなときは

## 3. 電気錠ユニットの扉への組付け つづき

### ポイント

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

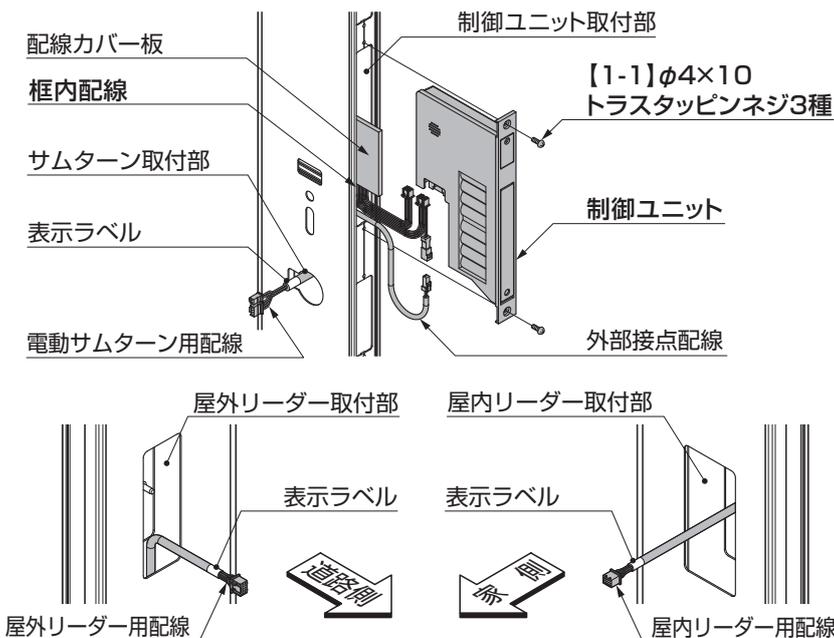
ネジの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m{12kgf・cm}

●コネクタは「カチッ」と鳴るまで挿してください。

●取付部品で配線を挟まないように注意してください。挟みますと断線や機器の故障の原因となります。

●CAZAS+には屋内リーダーはありません。

### 3-2 制御ユニットの組付け



①制御ユニットに框内配線を差込みます。

### ポイント

●オプションの門内解錠押しボタンスイッチやワイヤレス解錠ユニットを取付ける場合も、この時点で配線を差込んでください。

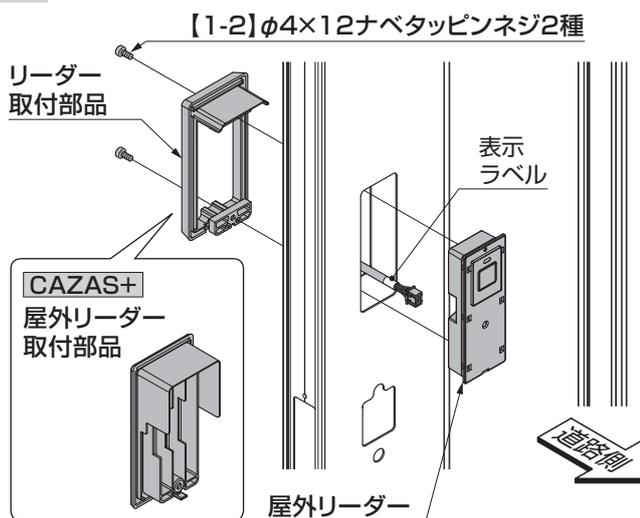
②制御ユニットの取付部より配線を引き込み、屋内リーダー取付部、屋外リーダー取付部およびサムターン取付部より配線の表示ラベルにしたがい配線を引き出します。

③制御ユニットを扉に差込み【1-1】で取付けます。

### ポイント

●配線カバー板を先にいれて、その後制御ユニットを差込んでください。

### 3-3 屋外リーダーの組付け



①屋外リーダーに配線を差込みます。

② **タッチキー**

リーダー取付部品に屋外リーダーを【1-2】で取付けます。

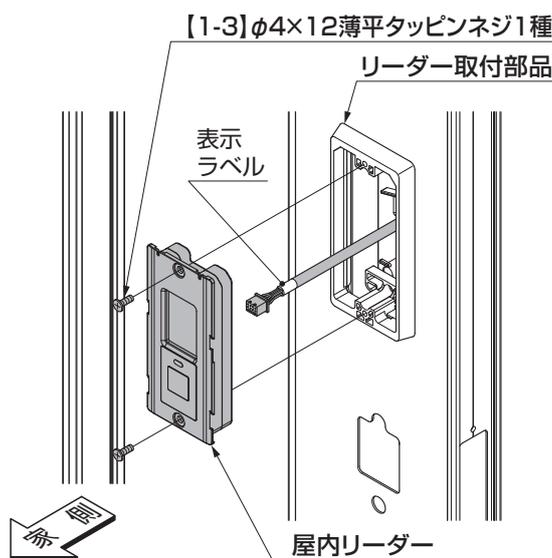
**CAZAS+**

屋外リーダー取付部品に屋外リーダーを【1-2】で取付けます。

### ポイント

●屋外リーダー／屋内リーダーには向きがあります。間違えますと機器が故障や破損する原因となります。

### 3-4 屋内リーダーの組付け **タッチキー**

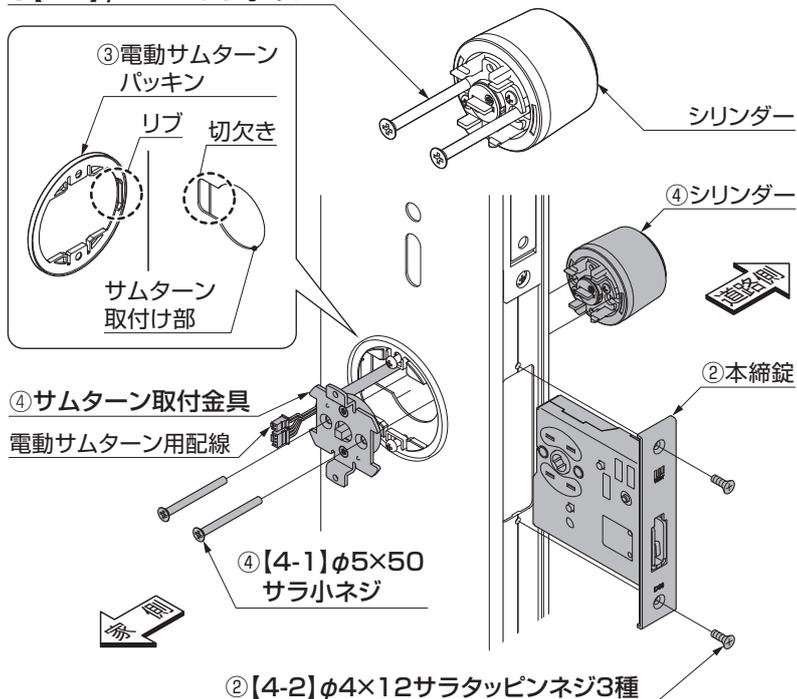


①屋内リーダーに配線を差込みます。

②リーダー取付部品に屋内リーダーを【1-3】で取付けます。

### 3-5 電動サムターンの組付け

#### ①【4-1】φ5×50サラ小ネジ



①【4-1】をシリンダーから取外してください。

②本締錠を【4-2】で取付けます。

#### ポイント

●シリンダーセット又はプッシュプルST錠に同梱されているネジを使用します。

③電動サムターンパッキンをサムターン取付部に取付けます。

#### ポイント

●電動サムターンパッキンには向きがあります。パッキンのリップとサムターン取付部の切欠きを合わせてください。

④門扉道路側のシリンダーを、家側よりサムターン取付金具を通して【4-1】で取付けます。

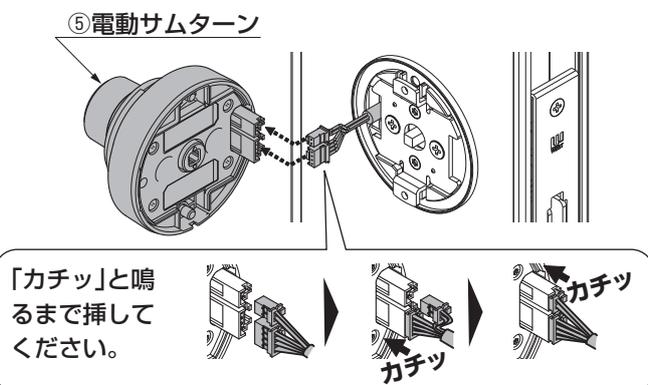
#### ポイント

●取付部品で配線を挟まないように注意してください。挟みますと断線や機器の故障の原因となります。

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

※ネジの締付けトルク(推奨)：1.2N・m {12kgf・cm}

⑤電動サムターンに配線を差込んでください。



「カチッ」と鳴るまで挿してください。

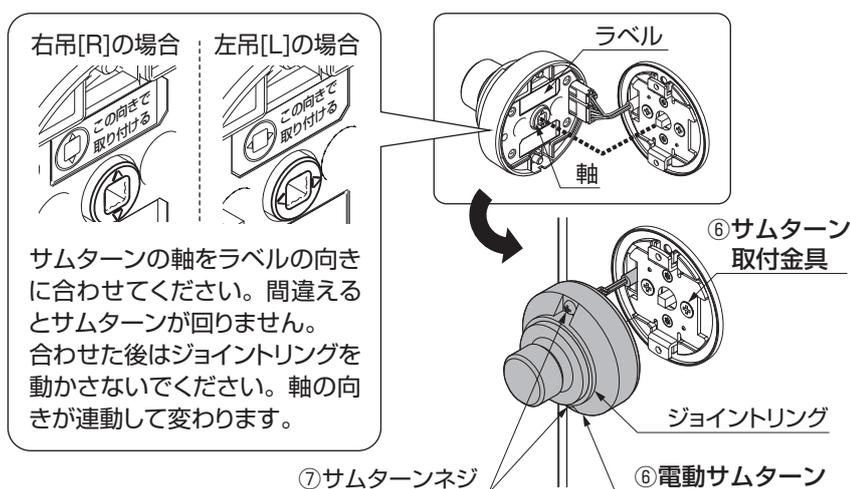


⑥電動サムターンをサムターン取付金具にはめ込みます。

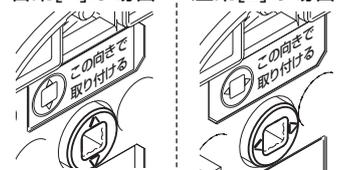
#### 注意

●電動サムターンに向きがあります。向きを間違えると機器が故障や破損する原因となります。

⑦サムターンネジで固定します。



右吊[R]の場合 左吊[L]の場合

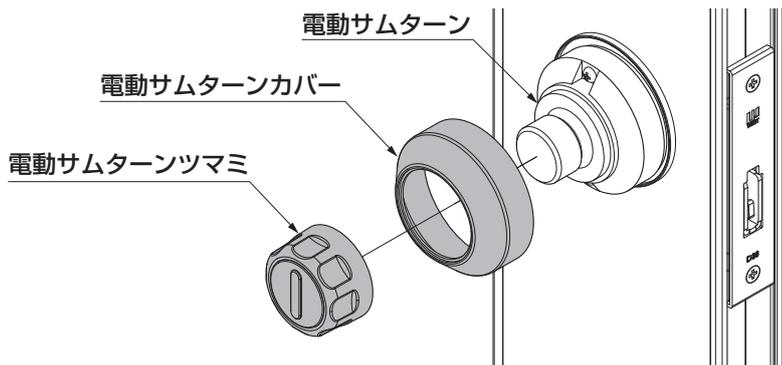


サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

⑦サムターンネジ

⑥電動サムターン

## 3. 電気錠ユニットの扉への組付け つづき



⑧ 電動サムターンカバーをはめてから電動サムターンツマミを付けます。

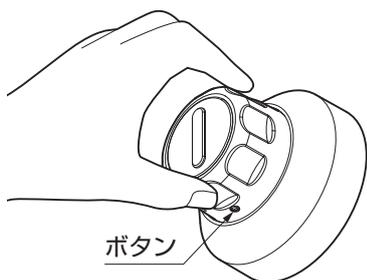
### ポイント

- 電動サムターンツマミに向きがあります。
- 電動サムターンパッキンに電動サムターンカバーが乗り上げないように取付けてください。電動サムターンが正常に動かないおそれがあります。

### ■メンテナンス時の対応

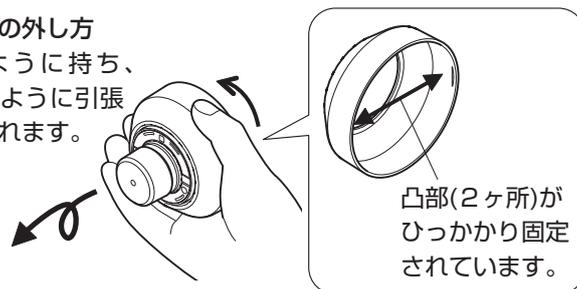
#### ● ツマミの外し方

ボタンをペン先やつまようじなどで押しながらツマミを引っ張ります。

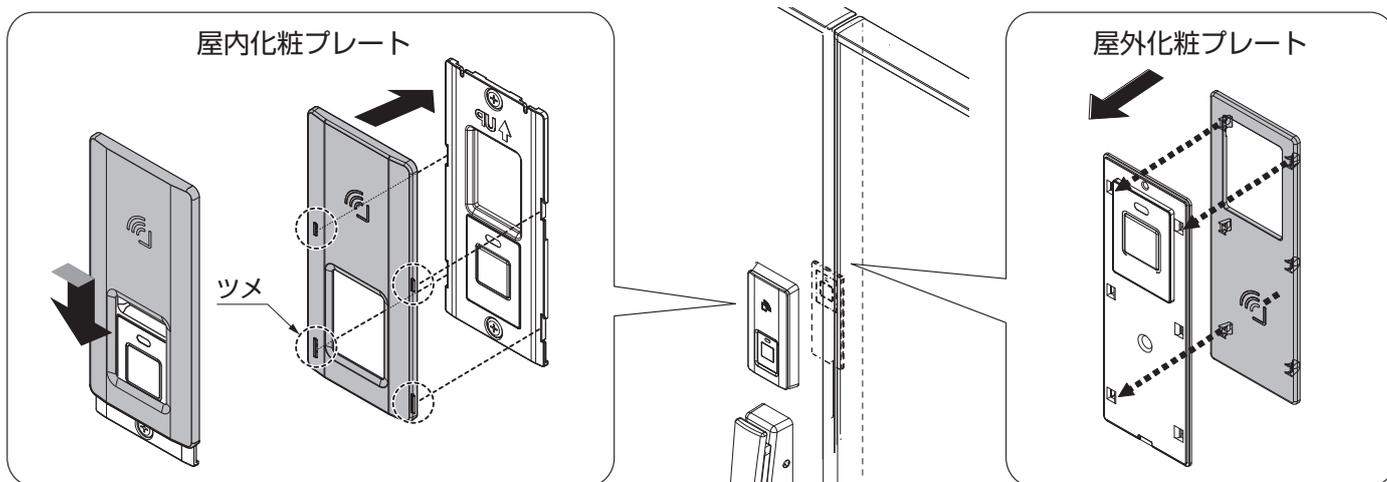


#### ● カバーの外し方

図のように持ち、ひねるように引張ると外れます。

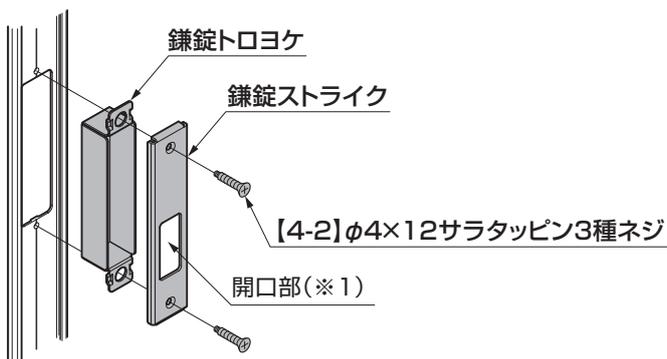


### 3-6 屋外／屋内リーダー化粧プレートの取付け



- ① 屋外リーダーに屋外リーダー化粧プレートをツメ位置を合わせてはめます。
- ② 屋内リーダーも同様にはめます。
- ③ 屋内リーダーは、化粧プレートの周囲にすき間がないように付け、下にスライドします。

### 3-7 鎌錠ストライクセットの取付け

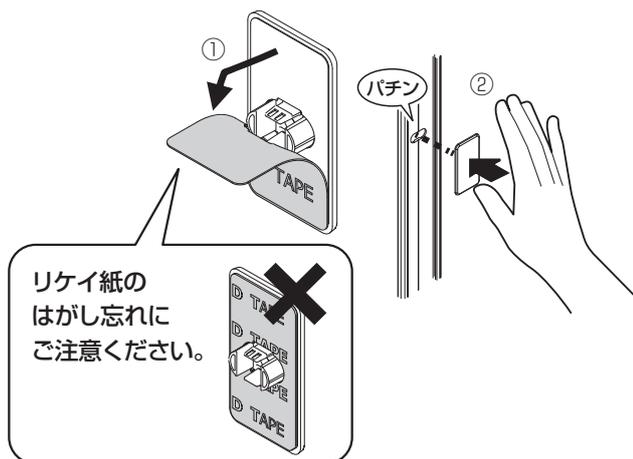


- ① 親子・両開きの場合は受扉に、片開きの場合は錠受け部材に、鎌錠ストライクの開口部(※1)を下側にして鎌錠ストライクと鎌錠トロヨケを【4-2】で取付けます。

### ポイント

- 鎌錠ストライクの開口部(※1)を下側にして組付けてください。

## 4. マグネットの取付け



リケイ紙の  
はがし忘れに  
ご注意ください。

①マグネットのリケイ紙をはがします。

### ポイント

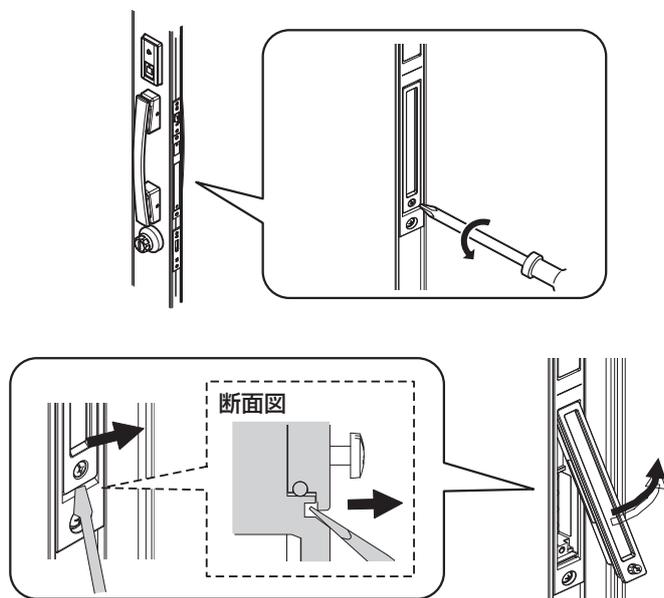
- リケイ紙をはがし忘れないでください。

②マグネットを合掌框または受け門柱に貼り付けます。  
マグネットを3秒以上強く押付け圧着させてください。

### ポイント

- マグネット貼り付け面が汚れている場合は掃除をしてください。汚れたまま貼り付けると外れるおそれがあります。

## 5. 電池の挿入



①電池フタのネジを緩めます。

### ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

②電池フタを外します。

### ポイント

- フタが固い場合は、図のようにマイナスドライバーなどで外してください。

③電池を入れます。

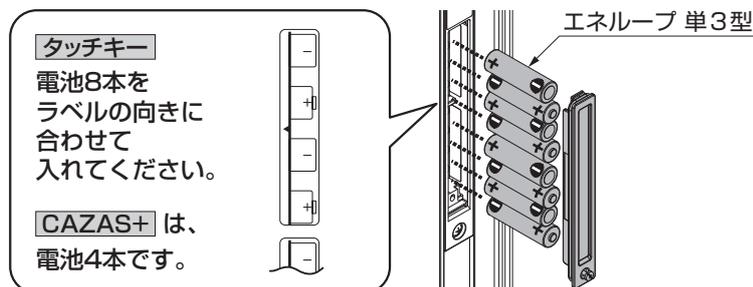
④電池フタを閉め、ネジを締めます。

### ポイント

- ネジはフタを押えながら締めてください。
- 電池フタを閉めた後、ブザー音が鳴る場合は、以下の原因が考えられます。

ブザー音	お知らせ内容
ピーピピ×4	電動サムターンのコネクタ接続ができていません
ピー-----(*)	・電池の入れ間違い ・電池フタが半開きになっている

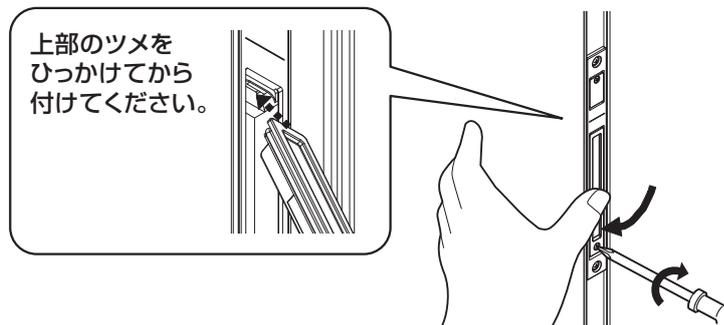
- ブザー音と共に電池切れ表示が点灯します。(詳しくは、P.22「(2)異常時のブザー音、リーダーの表示について」をご確認ください)(\*)



**タッチキー**  
電池8本を  
ラベルの向きに  
合わせて  
入れてください。

**CAZAS+** は、  
電池4本です。

エネルギー 単3型



上部のツメを  
ひっかけてから  
付けてください。

## 6. 解錠用オプション部品の組付け オプション

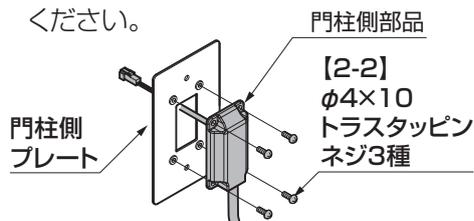
### ポイント

●門内押しボタンスイッチセットとワイレス解錠ユニットを併用する場合の取付位置は **6-3** を参考にしてください。

### 6-1 門内押しボタンスイッチセットの組付け

#### (1) 外部接点配線の組付け

①門柱側プレートの穴に外部接点配線を通し、門柱側プレートと外部接点配線の門柱側部品を【2-2】で取付けてください。



③外部接点配線の配線と解錠用押しボタンスイッチからの配線をスリーブで圧着してください。

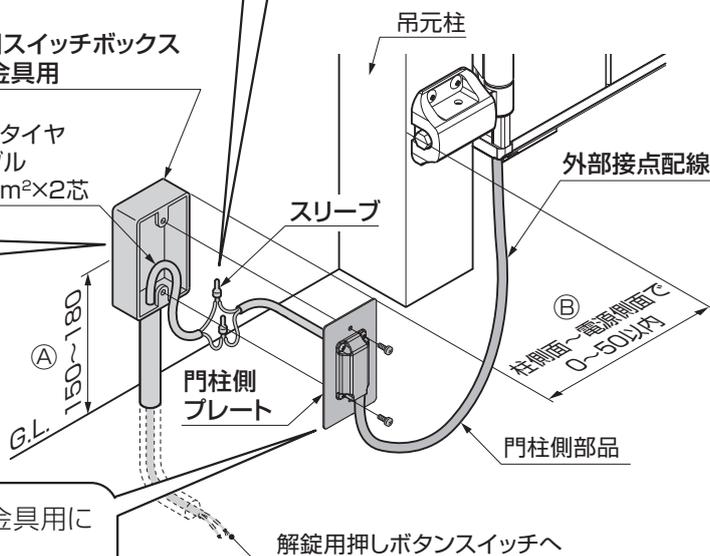
### ポイント

●スリーブの圧着は確実にを行い、必ず防水テーピングを施してください。防水テーピングをしないと作動不良の原因になります。

②1コ用スイッチボックス通電金具用を図の寸法(A)(B)を参照して取付けてください。

1コ用スイッチボックス  
通電金具用

キャブタイヤ  
ケーブル  
0.5mm<sup>2</sup>×2芯

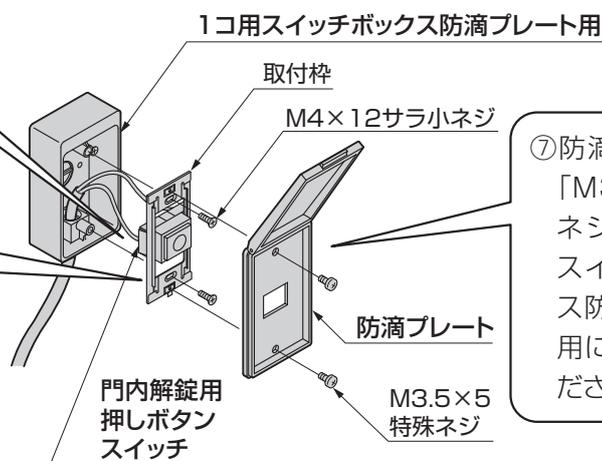


④門柱側プレートを1コ用スイッチボックス通電金具用に取付けてください。

#### (2) 解錠用押しボタンの組付け

⑤通電金具に接続した配線を解錠用押しボタンスイッチに接続してください。

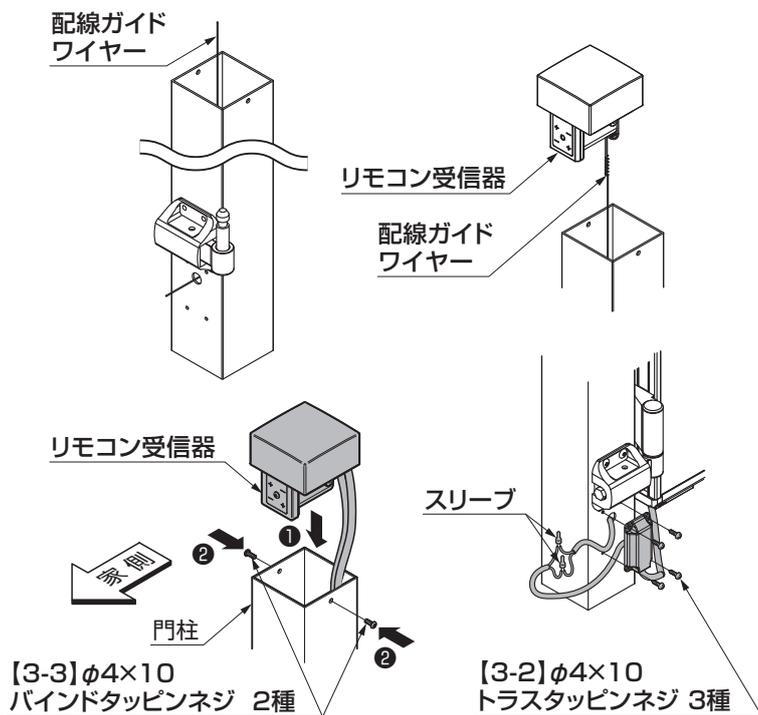
⑥取付枠を「M4×12サラ小ネジ」で1コ用スイッチボックス防滴プレート用に取付けてください。



⑦防滴プレートを「M3.5×5特殊ネジ」で1コ用スイッチボックス防滴プレート用に取付けてください。

## 6-2 ワイヤレス解錠ユニットの組付け

※詳細は<A571>ワイヤレス解錠ユニットの取付説明書を参照してください。



- ①配線ガイドワイヤーを門扉下側の穴より門柱上部まで通してください。
- ②リモコン受信器の配線に配線ガイドワイヤーを巻きつけて、門柱の下側の穴より引き出してください。
- ③リモコン受信器を門柱に差込み、【3-3】で取付けてください。

### ポイント

- 電池面が家側に向くように取付けてください。

- ④リモコン受信器の配線と外部接点配線をスリーブで圧着してください。

### ポイント

- スリーブの圧着は確実にいき、必ず防水テーピングを施してください。防水テーピングをしないと作動不良の原因になります。

- ⑤外部接点配線の門柱側部品を門柱に【3-2】で取付けてください。

## 6-3 門内解錠押しボタンスイッチとワイヤレス解錠ユニットを併用する場合

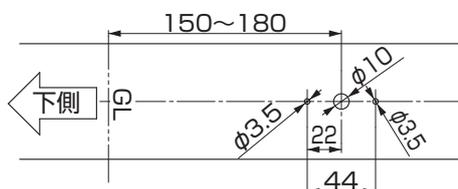
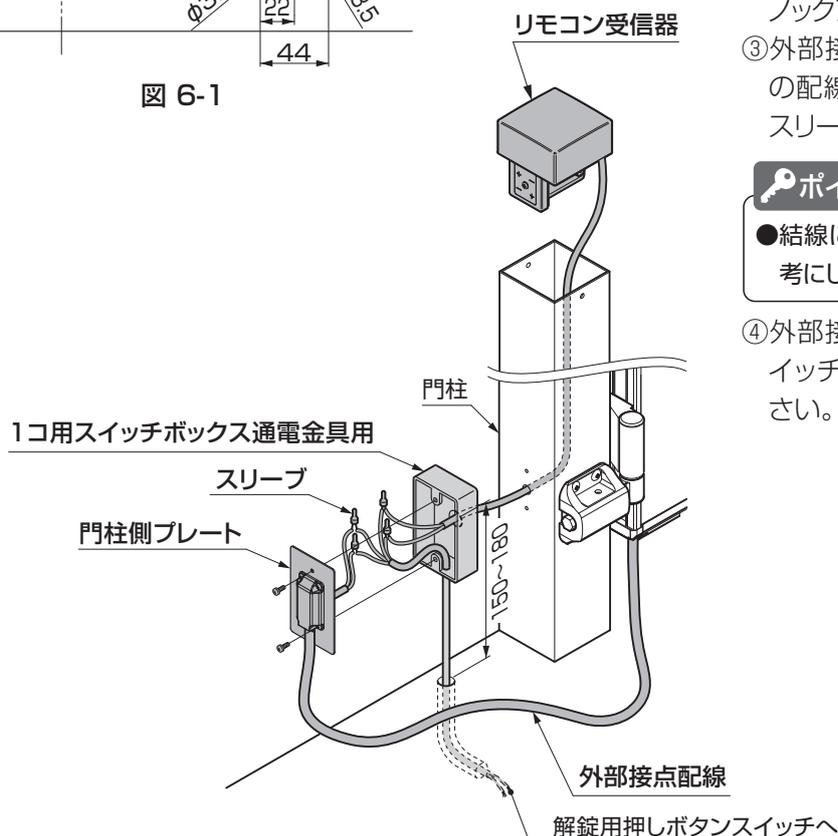


図 6-1



- ①門柱の側面に、図6-1を参考に穴を開けます。
- ②1コ用スイッチボックス通電金具用の底のノックアウトを外し、門柱に取り付けます。
- ③外部接点配線と解錠用押しボタンスイッチの配線およびリモコン受信器からの配線をスリーブで圧着してください。

### ポイント

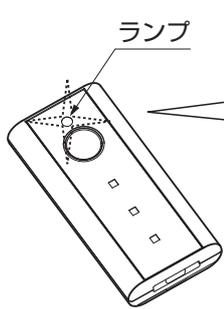
- 結線については、「2.システムイメージ」を参考にしてください。

- ④外部接点配線の門柱側プレートを1コ用スイッチボックス通電金具用に取付けてください。

## 7. 電気錠の登録および設定

### 7-1 リモコンキーの登録方法 タッチキー

#### (1) リモコンキーの電源操作方法



	電源	ランプ表示
長押し(約3秒以上)	ON	ランプが緑色に点灯(1秒間) ☀️ → 電源が OFF → ONになりました。
	OFF	ランプが緑色に点滅(5回) ☀️▶️●▶️☀️▶️●▶️..... 電源が ON → OFFになりました。

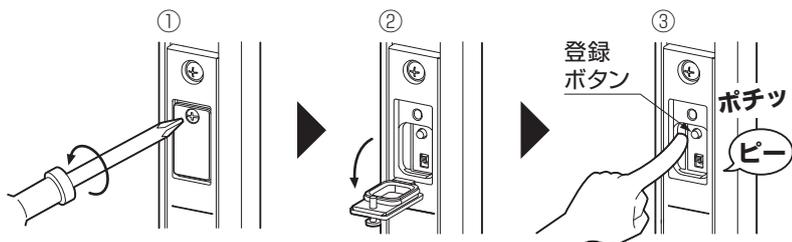
#### ポイント

- しばらく使用しないときや門扉付近でリモコンキーを保管しなければならない場合は電源をOFFにしてください。

#### (2) リモコンキーの登録方法

#### 補足

- 登録したいリモコンキーをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- 新たに1個でも登録するとそれまでの登録データがすべて消去されるため、今まで登録されていたリモコンキーも再登録する必要があります。
- 1台の門扉にリモコンキーは最大10個まで登録できます。
- 1つのリモコンキーを複数の門扉に登録する事ができます。(数の制限はありません。)



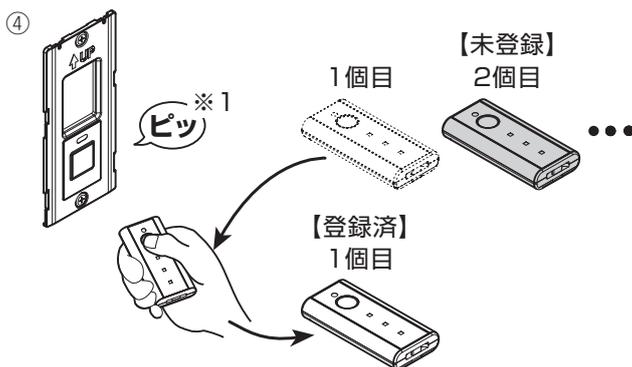
①制御ユニットのフタのネジをゆるめます。

#### ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

②フタを外します。

③ピー音が鳴るまで登録ボタンを押し、登録モードに切り替えます。

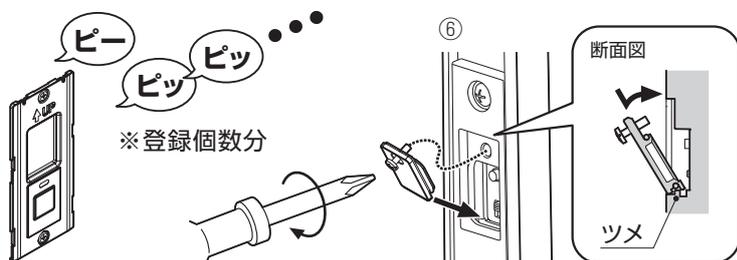


④1個ずつリモコンキーのボタンを押して登録します。

#### 補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ『ピー音』が鳴ります。(例：1個目『ピー』、2個目『ピッ、ピッ』)(※1)
- 10個目のリモコンキーを登録すると、『ピー音』が鳴り、すぐに登録モードが終了になります。(※2)

⑤登録完了音の30秒後  
もしくは10個目登録後(※2)



⑤約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー音』の後、登録個数分『ピ音』が鳴ります。(※2)

⑥フタを元に戻します。

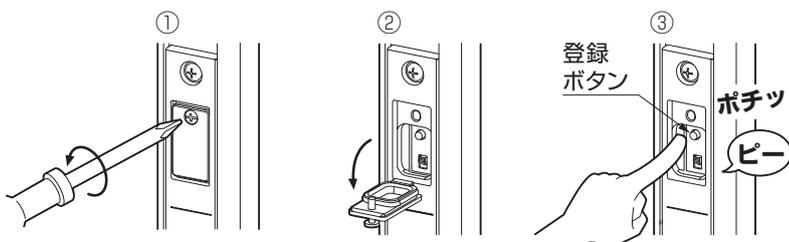
#### ポイント

- 下部のツメをひっかけてからネジを締めてください。

## 7-2 カードキーの登録方法 CAZAS+

### ポイント

- 登録したいカードキーをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- 1台の扉にカードキーは最大20枚まで登録できます。
- 1枚のカードキーを複数の扉に登録することができます。(数の制限はありません。)



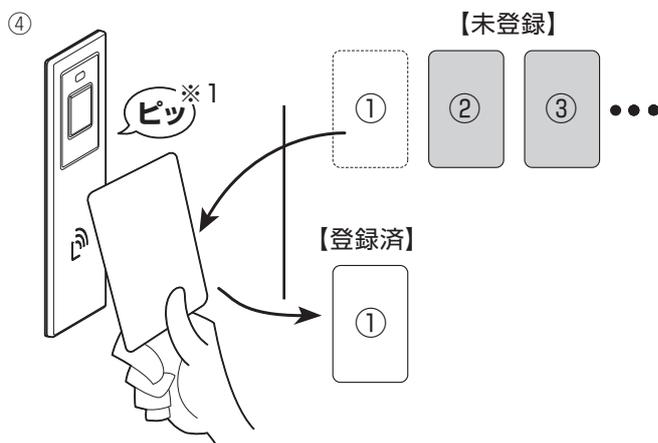
①制御ユニットのフタのネジをゆるめます。

### ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。  
約10回転回します。

②フタを外します。

③『ピー音』が鳴るまで登録ボタンを押し、登録モードに切り替えます。

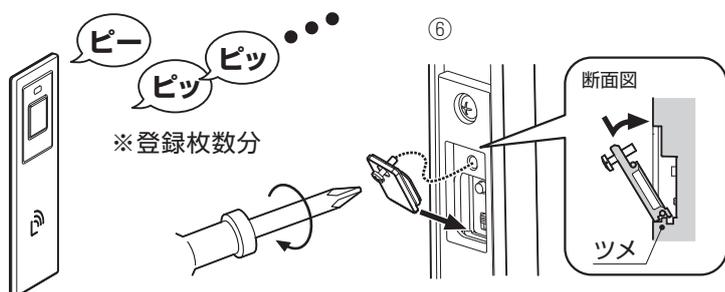


④1枚ずつカードキー「」マークにカざし登録します。

### ポイント

- 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピー音』が鳴ります。(例：1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』)(※1)
- 20枚目のカードキーを登録すると、『ピー音』が鳴り、すぐに登録モードが終了になります。(※2)

⑤登録完了音の30秒後  
もしくは20枚目登録後(※2)



⑤約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー音』の後、登録枚数分『ピッ音』が鳴ります。(※2)

⑥フタを元に戻します。

### ポイント

- 下部のツメをひっかけてからネジを締めてください。

### 補足

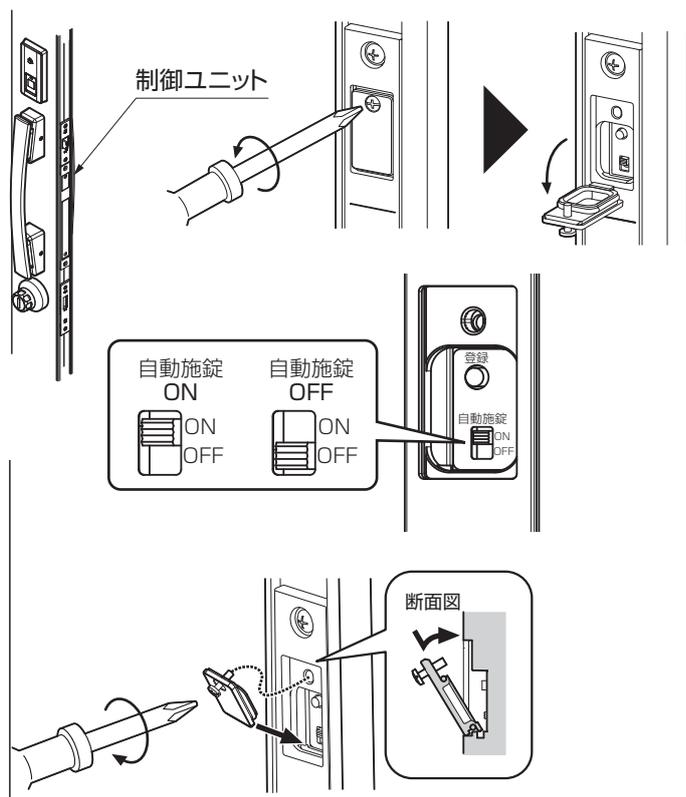
※カードキーが利用できない場合がありますので次の内容についてご注意ください。

- 複数の非接触型 IC カードと一緒にかざした場合。
- 金属ケースなどの電波の通り難い材質に覆われた状態でかざした場合。
- 小銭などの金属が入った財布に入れてかざした場合。
- 通信中の無線通信機器と一緒にかざした場合。
- 玄関ドアの近くにパソコンやテレビなど電波ノイズを出す機器や無線通信式の電化製品がある場合。



## 7. 電気錠の登録および設定 つづき

### 7-3 自動施錠ON/OFFの切替方法



①制御ユニットのフタのネジを緩めます。

**お願い**

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

②フタを外します。

③スイッチを切り替えます。

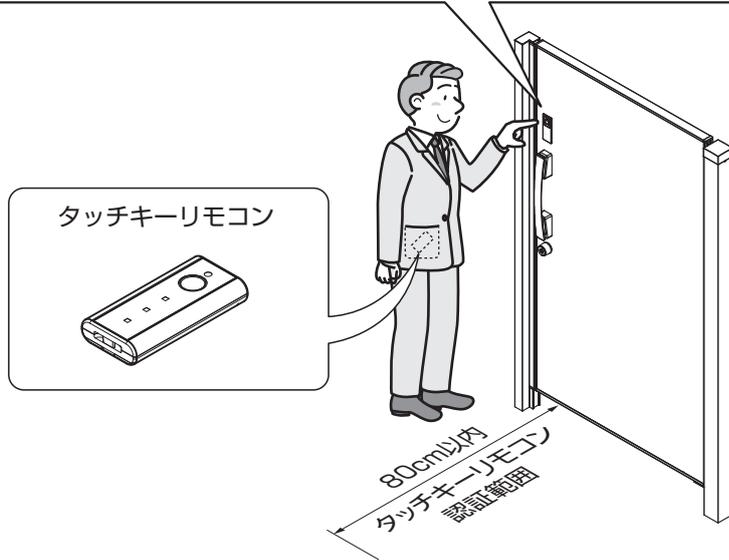
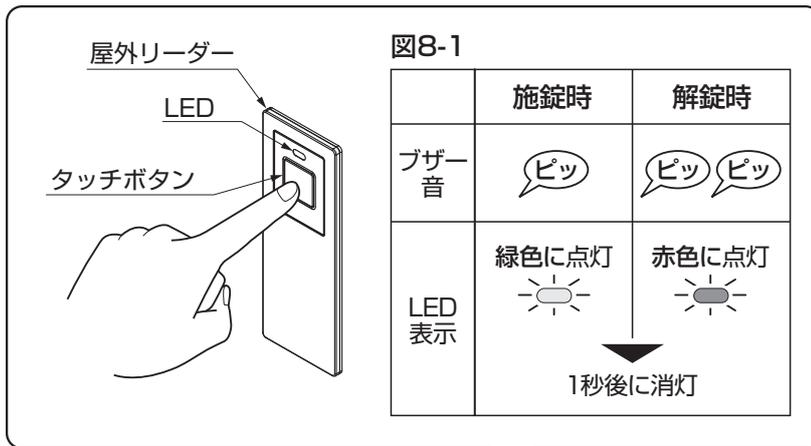
④フタを元に戻します。

**お願い**

- 下部のツメをひっかけてからネジをしめてください。

## 8. 施解錠方法

### 8-1 リモコンキーでの施解錠方法(タッチモード) タッチキー



①リモコンキーを携帯し、タッチボタンを押します。

#### 補足

- タッチボタンを押すと最大5秒間、認証モードになります。この間にリーダー部とリモコンキーの距離が認証範囲(約80cm以内)にあると施解錠します。周囲の環境により認証範囲は変化します。

②扉が施解錠します。

#### 補足

- 扉を開いて、扉を閉めると、2秒後に自動施錠します。
- 扉を閉めたまま30秒が過ぎると自動施錠します。自動施錠がOFFでも自動施錠します。
- 施解錠状態をLEDと音でお知らせします。(図8-1参照)

### 8-2 リモコンキーのボタンでの施解錠方法 タッチキー



①リモコンキーのボタンを押します。

②扉が施解錠します。その後の動作は、「8-1 タッチモード」と同様の作動となります。

#### 補足

- 扉を閉めたまま30秒過ぎると自動施錠します。
- 作動範囲は約3m以内です。

はじめに

配線

制御

ユニット

屋内外

リーダー

電動

サムターン

組

付け

手

順

化粧

プレート

錠

ストライク

セット

マグネット

電池

挿入

解錠用

部品

(オプション)

リモコンキー

登録

(タッチ)

カードキー

登録

(CAZAS+)

錠

・

設定

自動施錠

切替

リモコンキー

(タッチ)

施

解

錠

方法

門内解錠

押しボタン

(オプション)

ワイヤレス

解錠ユニット

(オプション)

カードキー

(CAZAS+)

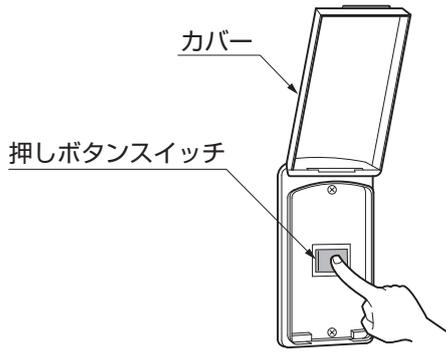
シリンダー

サムターン

こんなときは

## 8. 施錠方法 つづき

### 8-3 門内解錠押しボタンスイッチからの解錠方法 オプション



#### 補足

●押しボタンスイッチからの施錠はできません。

- ①門内解錠押しボタンスイッチを押します。  
扉が解錠します。  
その後はタッチボタンでの解錠と同様の作動となります。

### 8-4 ワイヤレス解錠ユニットからの解錠方法 オプション

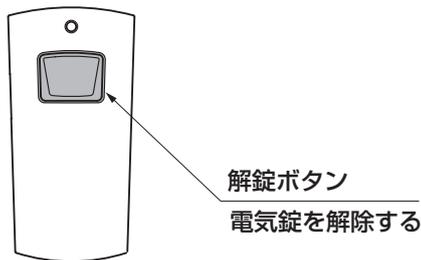


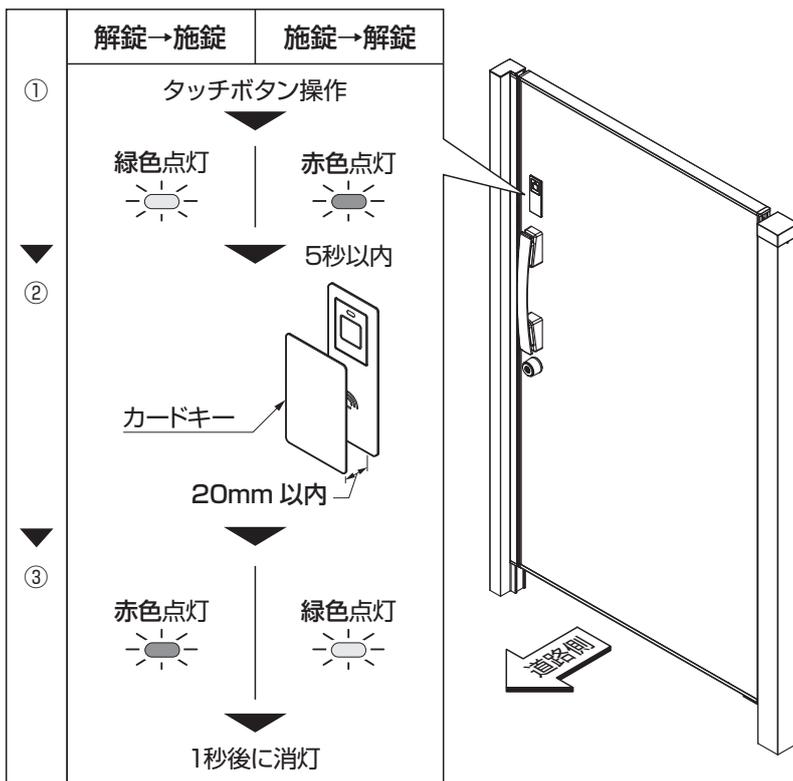
表8-1 動作表示灯

長く点灯	解錠信号が届いています。
点滅	受信器の電池が少なくなっています。
短く点灯	解錠信号が届いていません。

#### 補足

- リモコン送信器で施錠はできません。
- リモコン送信器の到達可能距離(目安)は見通し約30メートルです。

### 8-5 カードキーでの施錠方法 CAZAS+



- ①タッチボタンを押し、認証モードにします。

#### 補足

- リーダーのタッチボタンを押すと『ピ音』が鳴り最大5秒間、認証モード中はリーダーのLEDが点滅します。LEDの色は錠の状態によって異なります。

- ②カードキーを「」マークにかざします。カードキーは認証モード中に図のようにかざしてください。
- ③扉が施錠します。

#### 補足

- 扉を開いて、扉を閉めると、2秒後に自動施錠します。
- 扉を閉めたまま30秒過ぎると自動施錠します。
- 自動施錠をOFFにした場合は、自動施錠しません。
- カードキーをかざして錠を操作したときに、状態をLEDと音でお知らせします。

## 8-6 シリンダーや手動でのサムターンの施錠方法

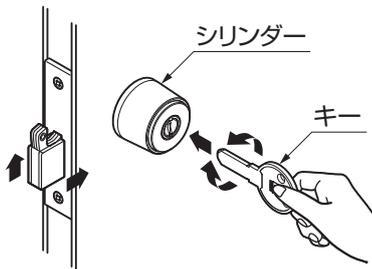


図 8-2 シリンダー

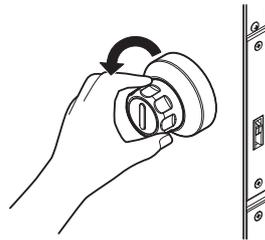


図 8-3 サムターン

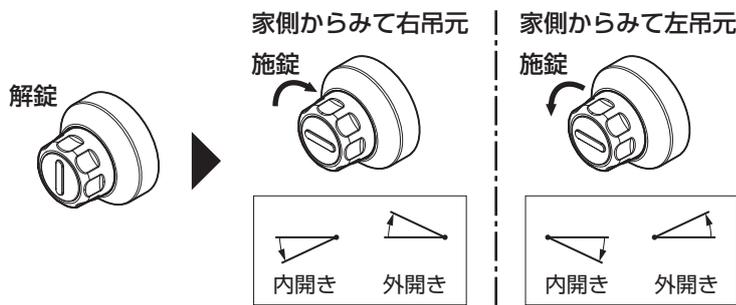


図8-4 サムターンの向きと表示

①シリンダー、サムターンを手で回し施錠できます。(図8-2、8-3参照)

### ポイント

- サムターンにはまわす向きがあります。(図8-4参照)
- 手動操作の場合、自動施錠のON・OFFに関わらず自動施錠しません。しめ忘れないように注意してください。

はじめに

配線

制御  
ユニット

屋内外  
リーダー

組  
電動  
サムターン

付  
化粧  
プレート

手  
順  
鍵錠  
ストライク  
セット

マグネット

電池  
挿入

解錠用  
部品  
(オプション)

登  
録  
リモコンキー  
登録  
(タッチ)

カードキー  
登録  
(CAZAS<sup>+</sup>)

定  
自動施錠  
切替

リモコンキー  
(タッチ)

施  
解  
錠  
門内解錠  
押しボタン  
(オプション)

方  
法  
ワイヤレス  
解錠ユニット  
(オプション)

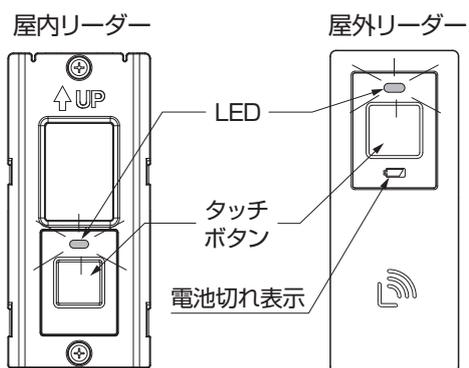
カードキー  
(CAZAS<sup>+</sup>)

シリンダー  
サムターン

こんなときは

## 9. 門扉のブザー音と表示について

### (1) 正常時のブザー音、リーダーの表示について



#### 補足

- 認証モード中に登録済みのリモコンキーが作動範囲内にあると電動サムターンが動作し解錠(施錠)します。(※1)

ブザー音	LED表示内容	お知らせ内容
ピッ	緑色で点滅(5秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	施錠中にタッチボタンが押され認証モード(※1)に入りました。
	赤色で点滅(5秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯(1秒間) ☀ →	施錠できました。
ピッピッ	赤色で点灯(1秒間) ☀ →	解錠できました。
ピー	緑→赤色で交互に点灯繰り返し ☀ ☀ ☀ ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。

### (2) 異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED表示内容	お知らせ内容	対処内容
ビビビビ	橙色で点滅(1秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	・ 門扉が開いています。 ・ マグネットが付いていません。	・ 門扉を閉じてください。 ・ マグネットを取付けてください。 (P.13「4. マグネットの取付け」参照)
ビビ × 8	橙色で点滅 (ビ音が鳴っている間) ☀ ● ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	・ デッドボルトがストライクに接触しています。	・ 建付けおよびチリ寸法を(P.6「1. 基本寸法図と各部名称」)を参考に調整してください。
ビービ × 4	橙色で点灯(5分間) ☀ →	・ 制御ユニットまたはリーダーが故障しています。	・ 部品の交換が必要です。
ビービビ × 4		・ 電動サムターンの取付け不備または故障しています。	・ 電動サムターンを門扉から完全に取外し、再度取付けてください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。 (P.11「3-5 電動サムターンの組付け」参照)
—	橙色で点滅(5秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● ● ● ● ● ●	・ カードキー、リモコンキーが登録されていません。	—
ビ—————	電池切れ表示が点灯(5秒間) ☀ →	・ 電池が切れました。 ・ 電池を入れ間違っています。	・ 新しい電池に交換してください。 ・ 電池を入れ直してください。 (P.13「5. 電池の挿入」を参照)

はじめに

配線

制御ユニット

屋内外リーダー

電動サムターン

組付け手順

化粧プレート

鍵錠ストライクセット

マグネット

電池挿入

解錠用部品(オプション)

リモコンキー登録(タッチ)

カードキー登録(CAZAS+)

自動施錠切替

リモコンキー(タッチ)

門内解錠押しボタン(オプション)

ワイヤレス解錠ユニット(オプション)

カードキー(CAZAS+)

シリンダーサムターン

こんなときは

## 10. リモコンキーのランプ表示について タッチキー

 ランプボタン	ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法
	赤色で点灯 ☀	ボタンが押され、操作信号が発信されました。	/
	緑色で5回点滅 ☀ ● ☀ ● ● ● ● ●	ボタンが長押しされ、電源がOFFになりました。	
	緑色で点灯(1秒間) ☀ →	ボタンが長押しされ、電源がONになりました。	
	赤色で3回点滅 ☀ ● ☀ ● ☀ ●	電池容量が残りわずかになりました。	電池(CR2032)を新品に交換してください。
	赤色で点灯し続ける ☀ →	リモコンキーに異常があります。	リモコンキーを交換してください。

## 11. 商品仕様

### (1) 門扉組込み部(制御ユニット、屋外・屋内リーダー、電動サムターン)

項目	仕様	
	タッチキー	CAZAS+
入力電源仕様	DC4.8V エネループ 単3形 8本 (4本の直列接続を2並列で接続)	DC4.8V エネループ 単3形 4本 (直列接続)
電池寿命	約1年 (常温20℃ 操作:10回/日)	約1年 (常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	135.5kHz	13.56MHz
電界強度	118dB $\mu$ V/m(参考値)	112dB $\mu$ V/m(参考値)
無線局の種別	誘導式無線設備	誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	-10 ~ 50℃(電池を除く)	
使用環境湿度範囲	20 ~ 90%(相対湿度)	
保存環境温度範囲	-20 ~ 60℃	
登録可能数	リモコンキー:最大10個	カードキー:最大20枚

### (2) リモコンキー タッチキー

項目	仕様
入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	426MHz
電界強度	63dB $\mu$ V/m(参考値)
無線局の種別	特定小電力無線
使用環境温度範囲	-10 ~ 50℃
使用環境湿度範囲	20 ~ 90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20 ~ 60℃

### (3) カードキー CAZAS+

項目	仕様
通信規格	ISO14443 typeA 準拠
使用環境温度範囲	-10 ~ 50℃
保存環境温度範囲	-20 ~ 60℃

取説コード  
**A572**

JZZ623683G  
201302A\_1041  
201912H\_1049